

第 49 回わたぼうし音楽祭 作詩・作曲の部 入選作品一覧

これからのぼく	これからのぼく	君の名をよんでみたとき おいで come	おはようの目覚まし時計は聞こえなくて	点字板
作詩：青木心佑（福井市・12 歳）	友達をもっと増やして話したい	飛んで来たね風のように	スマホの振動で目が覚めて	作詩：鈴木美緒（神戸市・18 歳）
作曲：笠木敦志（千葉県柏市・55 歳）	鉄道仲間も作って話し合いたい	君の名はベイス	太陽の光や時計でわかる朝	作曲：倉持祥子（茨城県北茨城市・38 歳）
	いろんな人と関わって活動したい	かけがえのないぼくのパートナーさ	目で見える風景は同じでも	
小 1 のぼく	これからのぼく	君と歩いた春の街並み	鳥の声や好きな音楽があるだけでも	点字板との出会いは小学生のとき
自信がもてず すぐあきらめていた	これからも 笑顔で 楽しく	吹く風のなんと心地良いことか	私の知らない朝となるのだろうか	紙の折り方や定規のはめ方から教わった
絶対無理 どうせできないし	学習や趣味に 取り組んで	ベイス come good ベイス go good	ただただ静かに昇った太陽は	サクサク打ってる先輩の音を聞いて
でも 先生と一緒に頑張った	周りの人に 優しい心を持って	さあ行くぜお仕事だよ	カーテンから飛び出して	わたしも先輩に追いつきたいと思って
小 6 のぼく	これからのぼく	君とぼく 二人で一人 straight go	部屋中を光で包み	点字板と一生懸命向き合った
くじけずに何度もチャレンジした	自分から積極的に行動するぞ	落ち着いてるね君との歩み	風に流されるままの雲	
がんばってみよう やればできるはず	やってみよう 絶対できるんだ	バスが来たこと教えてくれる	泣いてるように降る雨	自分の名前
みんなで力を合わせて 努力した	新しいことや難しいことに向かって	停車駅近いよとブンブン揺れる君のしっぽ	でも何も聞こえない	本の感想文
これからのぼく	挑戦するぞ	夏の太陽背に受けてニコニコ歩く君が愛しい	同じ朝を繰り返す日々	授業のノート
自分から積極的に行動するぞ		ベイス come good ベイス go good	そんな毎日だけど	それから 大好きだよってお手紙
やってみよう 絶対できるんだ		気持ちいいね夏の夕焼け	時間が経てばいつしか	
新しいことや難しいことに向かって			友達と挨拶をして迎える朝	日記を書くようになって
挑戦するぞ			蕾を見つけ 春を感じる朝	できるようになったことや難しかったこと
			とてつもなく暑い夏の朝	それから
小 1 のぼく			秋の気持ちいい風に包まれる朝	悔しさとか悲しさとかを
鉄道を堤防で見るのが好きだった			みんなで集まって温まる冬の朝	書くようになった
すごい 速い カッコいい			そしてなにより家族と笑い合う朝	点字板は何も言わずに受け止めてくれた
新幹線の運転手になりたいな			私にとってかけがえのない朝に	
小 6 のぼく			いつも無音だった朝は	見える子のように遊びたい
一人で電車やバスに乗って家に帰る			彩られたたくさんの一日の始まりへ	誰にもそんなこと言えないから
電車の音 窓から見る景色がいいな			生まれ変われるのだと知った	そんなこと言ったら
でも 寝過ぎないようにしないとなあ			さあ 明日はどんな朝が訪れるかと	言われた方が傷つくってわかってたから
これからのぼく			そっと目を閉じ眠る夜	でも点字板には言えた
一人で日本一周鉄道旅をしたい				点字板は何も言わずに受け止めてくれた
乗ったことのない電車に乗りたい				
鉄道物知り博士になりたい				
小 1 のぼく				
学校で年上のお兄さんたちと				
たくさん遊んだ				
初めて会う人とは 話せなかった				
はずかしい 緊張するなあ				
小 6 のぼく				
先輩たちと休み時間にたくさん話をした				
交流学习で同学年の友達がたくさんできた				
うれしい 楽しい もっと話がしたい				

* 入選者の情報は 2024 年 6 月 10 日現在のものです。

第48回わたぼうし音楽祭 作詩・作曲の部 入選作品一覧

ちっぼけな力
作詩：遠藤悦夫（大阪府藤井寺市・72歳）
作曲：川口コウスケ（大阪市・31歳）

ちっぼけな力でも 生きる意義がある
諦めずに その意志を示そう
困難を恐れず 自らの道を進もう
耳を澄ませば 友達の声が聞こえる

舞上がれ 希望よ
手を挙げて 空高く
心を燃やし 力を解き放て
ちっぼけな力でも
大きな夢を叶えよう

ちっぼけな力でも 大きな意味がある
みんなの笑顔で 空も海も大地も輝く
周りの人々と共に 今を生きている
全力で未来へ進もう 自らの道を

ちっぼけな力でも 生きる価値がある
涙で作った湖が 美しい光を放つ
諦めずに その決心を示そう
困難を恐れず 希望の明日を追い求めよう

舞上がれ 希望よ
手を広げて 空へと
心を開き 力を解き放て
大きな夢を広げよ
ちっぼけな力 大きな夢を

白いガーゼ
作詩：椽川慈彰（岐阜県本巣市・49歳）
作曲：渡邊 卓（神奈川県横浜市・60歳）

ぼく 働くのを していて
ぼく 職場が つらくないけど
まわりの人は ぼくとちがって できがいい

みんなはたぶん 大学をでてるけど
ぼくは ちがう
ぼくは 大学を でてない
ぼくは 正職員では ありません

ぼくは かしこく ないけど
今はもう 勉強をするときじゃないと思って 働く
朝起きて 職場へ行って
はじまったら 眠くても 起きてる

ぼく 働く
ぼく 職場が つらくないけど
まわりの人は ぼくとちがうけど
ぼくは 勉強が
できないだけじゃ ないんだけど
みんなは いいけど
ぼくは ダメ
ぼくには キズがある

どうなってるか ぼく わからないけど
キズ口が ひらくとき あって
それが イタイ
ぼく じっとして がまんする たえる

でも ぼく そこからでも 治る
ぼくでも 楽しい夢 みれる
長い夢 みれる

ぼく キズ口に
ガーゼをあててもらったこと あって
白いガーゼ
命に 白きガーゼ
おかげで ぼくでも 夢みれる
ありがとう ぼく 仕事 つづけてます

第49回わたぼうし音楽祭 作詩・作曲の部 入選作品一覧

僕は生きていく
作詩：山本和真（北海道白老郡・20歳）
作曲：田中貴志（北海道札幌市・51歳）

僕が10歳に なったその日から
僕は車椅子に 乗ることになった

確かに身体は 楽になったけど
僕の心の中は 不安しかなかった

僕はこれから どうなるのかな
くよくよしても しかたないけど

もしも僕がもう一度 歩くことができたなら
家族のみんなと一緒に ごはんの準備をしてみたい

もしも僕がもう一度 走ることができたなら
野球選手を夢見て いつまでもボールを追いかけた
だろう

だけど僕は生きていく 命のつづくときまで
今を生きる喜び みんなと一緒に分かち合い

だけど僕は生きていく 命のつづくときまで
今を生きる幸せ 忘れずに いつまでも 歩んで行こ
う

ボクノウタ
作詩・作曲：
かけるなうじーによ（千葉県松戸市・34歳）

あの子の夢はパイロット あの子の夢はアイドル
僕はその前にみんなみたいになりたい

普通って誰が作った言葉なんだろう？
一般的ってどこまでがその基準なんだろう？

なんでそんなに器用にできるの？
なんでほしい言葉がすぐ出るの？
どれだけ勉強をしたら君みたいになれるかな？
なんで僕はこんなに遅いのだろう？
なんで僕は人と同じように出来ないのだろう？
どんどん離れていくね
…気付けばひとりぼっちだ

音楽するのが大好き。お絵描きするのが大好き
嫌なことを全部忘れられる
でもこんな事ばかりするからダメなのかな？
もっとみんなに合わせないといけないな

なんか風邪ばっか引いてるな 熱ばっかり出るな
ダメダメすぎるでしょ？
1人ツッコミが得意になった
でもこんな特技が欲しいわけじゃないんだ

なんでそんなに上手にできるの？
なんですぐに理解して進めるの？
どれだけ覚えていれば君みたいになれるかな？
なんでこんな事も出来ないんだろう？
もっと出来るはずなのに
体を壊しちゃうんだろう？
どんどんいなくなるね
…気付けばひとりぼっちだ

きっと誰にも伝わらないけど
意味がわからないと言われるけど
これが僕です これは僕の歌です

誰かに届けようと思わない
自分の生きた証として

この歌を歌う いっぱい歌い続けるよ